

# 原子力活用には課題がたくさん

## 福井原発から800kmに川西市は位置する

ご存知でしょうか

6月議会報告 その一

### 防災に強いまち

### 安心・安全の地域へ

10日から一般質問がおこなわれています。詳細については次号に掲載します。

今回の一般質問では、大震災に絡んだ項目、住民の安全確保について

が多くの議員から質問項目として出されました。

また議会前に行政から説明のあった、中央北地区整備の方針、都市計画道路見直しなどについて質問されます。

なかでも震災問題では日本共産党議員団からも、課題について追求していきます。

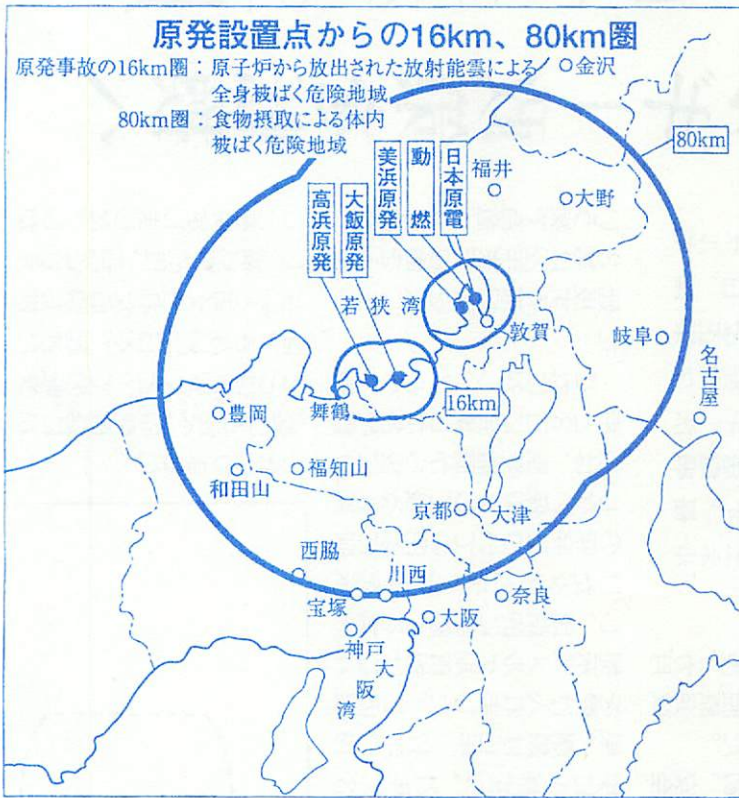
百万キロワットの原発は一日に広島型原子爆弾3個分の死の灰を生産している

原発問題では、原子力発電所建設当初から問題点を指摘し、警告を発していたのが日本共産党でした。

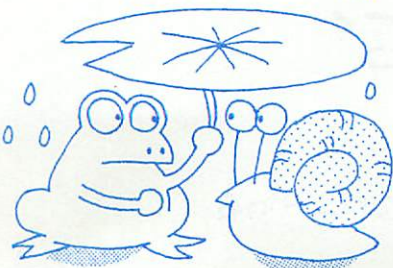
何よりも、『使用済み燃料の安全処理技術』が未完成、ない状況であること。発電すれば約三年で交換しなければならぬが、保管場所も無く、今回わかったように原子炉の直近のプールに一時的においておく処理がされており、冷やさなければならず、できなかつたら熱を発生し、放射能漏れを起こすことにつながっていきま

す。安全処理できないものは活用すべきではありません

すでに3ヶ月が経過しているのに、冷却の見通しも立っていません。汚染水がたまる一方です。すべて私たち人間にふりかかってくるのです。地球から脱出はできません。



アメリカでは、80km圏内は、食物摂取による体内被ばく危険地域に指定。水源地琵琶湖、一庫ダム、淀川、猪名川がすっぽり入ります。



よし **くらしの**  
「由さん」の 便り  
2011年 6月 272号

川西市議会議員 (日本共産党)  
**住田由之輔** すみだよしのすけ  
連絡・下加茂 1-24-23  
090-9283-6739

# ドイツ 原発撤退法案決定

## 22年までに17基全廃

### エネルギー政策を転換へ

福島第一原発事故を受け、原発撤退へのエネルギー政策の転換を目指していたドイツ政府は6日、国内にある原発17基の全廃を柱とする原子力法改正案を閣議決定しました。原発の代替として風力発電などを今まで以上に促進する再生可能エネルギー法案、エネルギー効率の良い送電網を整備する送電網法案なども決定し、上下両院の審議にかけます。福島原発事故後、主要国として初めて脱原発とエネルギー政策の転換へ向かうものです。

欧州ではフランスなどが、福島での事故後3カ月原発の総点検をするとしながら、福島での事故後3カ月間も原発推進の立場を維持していますが、一方で、ドイツは、当初、安全

点検のため稼働停止している旧式の原発7基と故障多発の1基の計8基をそのまま廃止し、残る9基は2021年まで運転を続けること



▲稼働中の原発    ▣停止中の原発  
(原則2022年までに廃止) (運転再開せず廃止)

いう案で合意。9基のうち3基は22年まで稼働を1年延長する選択肢を残しました。

これに対し、メルケル首相と3日に会談した各州首相は、原発撤退から後戻りしない保障として残る9基の原発についての閉鎖に向けたタイムテーブルを示し、段階的に閉鎖する案を提示。メルケル首相はこれを受け入れました。この結果、閉鎖は15年、17年、19年に1基ずつ、21年に3基、22年に3基という行程表になりました。

与党案に比べ、これは、最後の原発閉鎖の時期は変えないものの、3基の原発は段階的に前倒し閉鎖することになります。メルケル首相は3日の記者会見で「後戻りの選択肢はないことが明確になった」と述べていました。

メルケル首相は、昨年、原発の稼働を22年までに停止するとしたシュレーダー前政権の方針を見直し、稼働時期を平均で12年延長する

しんぶん 赤旗 日刊紙

6月7日付けトップ記事です

## 同じ資本主義国の中で日本との違い、

## どこからわかっていこうぞい

住民の命を守ることを優先するのか、企業の儲けを最優先するのかの違いでしょうか